

いいの 公民館だより

発行：飯野公民館 入善町東狐171-1 TEL 0765(72)5723 令和元年9月25日
(Eメール) info-s@iino-k.main.jp (URL) http://iino-k.main.jp/

106号

新任のご挨拶



飯野公民館長
上島 俊晴

3月末に永く勤めていた教員を退職することになり、これからの過ごし方を考え始めました。そして、在任中は殆ど地区に携わっていませんでした。痛感していた私のような者に、いろいろな方からこの職への就任を勧めいただきました。

一昨年から飯野小学校で勤務し、様々な機会に地区の皆様や子供たちが公民館活動に参加している様子を見させていただきました。地域の皆様の拠り所として、そして、次代を託す子供たちを育てていくこととする試みや年代を超えて学び合う多くの方々の姿に深く感銘を受け、微力ながら公民館活動に携わらせていただくことといたしました。

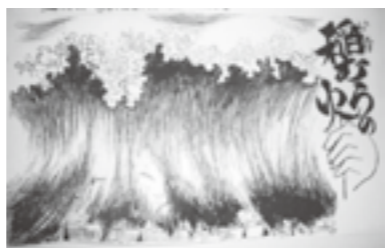
幸い、先輩諸氏や地域の皆様のご努力により、学び合い、気軽に集うことのできる活動の拠点として、飯野公民館は十分過ぎるほどの責を果たしているものと思います。今後は、高齢化・人口減少社会の中でも、地域の絆を深め、共助の精神を広め、「住みたくなる町入善」はもちろん、「住みたくなる地域 飯野」の核として公民館活動の充実に努めてまいりたいと考えています。地域の皆様の、これまで変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

飯野公民館まつり 11月9日(土)～10日(日)



展示作品募集中

●飯野公民館研修会の講演から
5月29日、公民館・新体制の確定があり、伏黒昇さん(上市町在住)の「地域のスクラムの拠点としての公民館」の講演がありました。
紙芝居で「稲むらの火」が演じられ、海岸の村で秋祭りの日に、高台に住む村長さんが海を見ると津波が来ることに気づき、田んぼにある稲むらに火を付けて村人を高台に避難させた逸話が面白く、興味をひかれたと好評を得ました。
また、現在の生活環境は昔と違い、カードやAI等により、ますます会話や人付き合いが薄くなる世へと移り変わって行くことを述べられました。このような環境下で、公民館のあり方をどのように考えていくかが問われています。



お世話になります

公民館協力員名簿 (敬称略)

地区	氏名
上飯野新	荻野 浩二
せせらぎの里	木本 法芳
道古	谷口 幸男
国道筋	大井 栄
宮坪	鍵田 秀子
農愛	広田 和浩
三ツ家	長田 ゆかり
学園団地	平 良夫
上飯野	上島 光雄
上飯野第2	上野 貴宏
板屋	嶋田 道幸
笹原	島瀬 宗俊
五郎八・本村	林 秋規
水笑楽団地	中村 しのぶ
蛇沢	滝本 敦子
高畠	裏田 明輝
芦崎第1	濱屋 芳博
芦崎第2	松田 良一
芦崎第3	高倉 正
芦崎第4	西島 孝義
芦崎第5	廣瀬 麻美
下飯野新	本波 博之
神子沢	浜田 清由
五十里	沼田 周二
高瀬	竹本 勉
下飯野	塚田 正
園家	塚田 久則
報徳	井田 学

- ・館長 上島 俊晴
- ・主事 瀧本 朱也子
- ・主事補 島先 昭範
谷口 幸男

スマホ教室開催

ドコモ黒部店 出張講座

日時：12月5日(木) 10時～

・スマホの入門と基本
*初心者対象

- ◎もっていない方も
- ◎他社機種の方も



◆お問い合わせ・申し込みは 飯野公民館(いこい～の内 ☎72-5723)へ

今後の行事予定

10月	12日(土)	そば友の会そば打ち会
	24日(木)	自然と歴史に親しむ集い (場所 城端、福光)
11月	3日(日)	バードウォッチング(場所 黒部川)
	7日(木)	園芸ボランティア教室
	9日(土) 10日(日)	飯野公民館まつり
	15日(金)	ふくし講演会
	未定	鮭の溯上・採卵見学(場所 未定)
12月	1日(日)	親子そば打ち体験教室
	5日(木)	スマホ教室
1月	未定	新春囲碁大会
2月	16日(日)	ペタンク大会
	23日(日)	そば友の会そば打ち会
3月	未定	鮭の稚魚放流(場所 未定)

※(場所)の表記のない行事は、飯野公民館での開催となります。

編集後記

今年度から、公民館だよりの編集に携わることになった。25年前に飯野小学校のPTAの広報部で部員とどの様な内容で発行するか議論してきたのが懐かしく感じる。広報を作るとき一番悩むのは、読者の皆さんが最後まで読んでくださるかという点である。読んでもらうためには、読者を引き付ける内容が大切であることは、いうまでもないが、果たして今回の公民館だよりの評価はどうであるか楽しみである。
(谷口記)

園芸ボランティア 現地研修会

ー 氷見あいやまガーデン ー

6月20日、22名で行ってきました。園内には、約200種、2500本の薔薇が植えられています。薔薇の見ごろは、5月中旬から6月上旬のため、訪れたときは薔薇が終わりかけで、百合が咲き始めたところでした。

展望台からは、天気によれば、市内の街並みや海、遠くに立山連峰を見ることが出来ます。あそこが入善町だと指さすのもいいでしょう。

花を贈るとき、最初に考えるのは薔薇を選びますね。薔薇には、愛を表現した花ことばがたくさんあるらしく、贈る本数によって3本は「あなたを愛しています」12本は「私と付き合ってください」の意味が存在するとか。

秋の薔薇の見ごろは、10月下旬から11月中旬らしい。また、園内には、薔薇だけでなく季節によって様々な花をみることが出来ます。子供広場やハート池などがありますので、おすすめの観光スポットとして紹介します。ぜひ行ってみてください。



園内の散策



みんな笑顔で

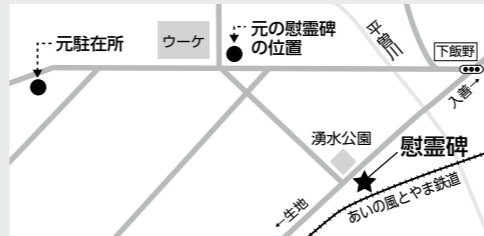
飯野の自然と文化を訪ねて 供養碑 ～コメトンバの悲劇～

高島と下飯野の信号の中間に慰霊碑があります。元の場所には地元の人「コメトンバ」(米トギ場がなまったもの)と呼んでいたところにありましたが、小学校に行っていたときは吹きさらしの場所です。現在ウーケのある場所です。惨事が起きたのは、1892年(明治25年)、今で言うホワイアウトになったときに、巡査が亡くなったのです。当時の道幅や林など想像するしかありませんが、吹雪で道も消えていたのでしょう。水公園の完成時に移転され、毎年夏に入善警察署の方々が供養されています。碑の横に以下の説明があります。

説明文

明治25年1月20日、魚津警察署入善分署(現入善警察署)飯野村駐在所勤務であった巡査高田隆七氏は上司の命を受け犯罪捜査の任にあたつたが、折から一メートルを越す積雪のなか、日暮れとともに冬枯れの雑木林野に風雪荒れ狂う猛吹雪となり、寸前の視野をもさえぎる闇夜の林野で、進路を見失い彷徨し、ついに心身とも力つき悲壮なる殉死をとげたものである。

その後高田巡査の偉業を偲び、1915年(大正3)に現在の供養碑が建立された。



四季いろいろ

化石みつけたぞ

親子自然探検

「あばれ川を探検しよう」と、7月21日、12人(小学生3人、中学生1人、保護者4人、関係者4人)は大川寺の常願寺河原に到着。上島飯野公民館長から「どんな石に化石があるのか」説明を受け、「岩石ハンマー」を手に入れた。化石を求めて散らばりました。化石のありそうな黄土色の石を割るなか、貝・貝の住みか・植物など、約1時間でたくさん発見できました。その後立山カルデラ博物館へ移動し、立体的に見える3D映像で、立山やカルデラの成り立ち、その植生や動物など、スケールの大きさと迫力を実物を見るような体験をしました。昼食は博物館下のえん提まで降り、持参の弁当を食べる周辺の散策。「川の水が冷たい」「石がこつこつして痛い」など自然に触れた体験でした。



館長の説明を聞く



見つけた化石

より遠く、高く

紙飛行機教室



6月15日、小学生8人と保護者6人で紙ヒコキを作りました。完成後はグラウンドで恒例のとはしっこ大会です。翼を調節して、より遠く、高くなる競い合いです。



長寿を祝って

敬老会

飯野地区敬老会

7月7日、社会福祉協議会が敬老会を開催しました。対象者750名、うち米寿が44名です。保育園児や小学生の踊りや寸劇を楽しみました。また振り込め詐欺の注意を促す寸劇もありました。



自然と歴史に親しむ集い

参加者募集

開催日：10月24日(金) 福光・城端方面(予定)

